

第186回人権擁護調査委員会/遺伝子研究に関する倫理委員会合同委員会(迅速審査)

日 時 2011年11月16日(水) 9時00分～10時00分

場 所 [広島] C-211 [長崎] 3階会議室(テレビ会議)

<遺伝子研究に関する倫理審査>

	部 名	研究課題名	審査結果	議事要旨
1	放射線生物学 /分子疫学部	婦人科がん患者における遺伝的突然変異有病率および治療効果における影響に関する症例対照調査	承認	◆情報等の廃棄方法あるいは、保存の際の匿名化の方法について、韓国国立がんセンターおよび放影研、それぞれの対応について記載すること。 ◆放影研内での個人情報管理者はいないが、放影研に提供される試料等は既に連結不可能匿名化されており、個人情報とはリンクしないので必要ないだろう。
2	放射線生物学 /分子疫学部	試行調査:放影研で保管されている死亡時年齢70歳以上のLSS対象者の胸腺剖検標本および広島大学で保管されているLSS対象者の胸腺剖検標本についての保管状況調査と標本の利用可能性の評価(RP-B-48-09の補遺)	承認	◆本研究で使用する試料は死亡者の試料であり、代諾者からの同意を得ずに連結可能匿名化にて用いることはできないという考え方もあるが、本研究は遺伝的情報を調べるものではなく、遺伝子の発現量を調べるものなので、連結可能匿名化にて使用できると考えて良いだろう。ただし、将来、本研究で調べた試料を用いて新たな研究が開始される際には、試料の取り扱いについて再検討する必要がある。
3	臨床研究部	「RP7-11成人健康調査対象者における新鮮甲状腺標本の保存(RP2-86の補遺)」の同意書関連書類の変更	承認	◆同意書について、タイトルを「将来のヒトゲノム・・・甲状腺標本保存同意書」から「将来のヒトゲノム・・・甲状腺標本保存・使用同意書」に修正すること。それに伴い、同意書についての説明書も修正すること。 ◆同意書についての説明書に、途中で同意を撤回しても今後の放影研での健診内容や対処に影響がない旨を追記すること。

*上記のことについて適正に修正されたことを確認して承認とした。